

提供日 2017/09/25
タイトル 「RSウイルス感染症」が流行しています！
担当 健康福祉部 医療健康局疾病対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



- 危機管理情報 - 「RSウイルス感染症」が流行しています！

1 要旨

乳幼児の代表的な呼吸器感染症であるRSウイルス感染症は、毎年冬季を中心に流行しています。今年は、全国的に例年より早く流行が拡大しており、本県でも患者報告数が例年を上回っていますので、一層の注意をお願いします。また、患者の約9割が2歳以下の乳幼児です。乳幼児のお子様に咳や発熱等の症状が見られ、水分や食事の摂取が少なくなってきたら早目に医療機関で受診してください。

2.76 (8/28~9/3) 3.76 (9/4~9/10) 4.10 (9/11~9/17)

「定点当たり」は、県内89の小児科定点医療機関における1機関当たりの1週間の患者数です。

2 RSウイルス感染症について

- 1歳までに半数以上が、2歳までにはほぼ全員が1度は感染するとされています。免疫ができにくいため、何度も再感染を繰り返します。
- 感染しても年長児や大人は軽い風邪症状ですが、生後数か月の乳児が感染した場合、気管支炎や肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。
- 感染経路は感染者の咳やくしゃみによる飛沫感染や、ウイルスの付着した手指や物品等を介しての接触感染が主なものになります。
- 感染すると、通常4~6日の潜伏期間を経て、発熱、鼻汁等の症状が現れます。
- 現在、ワクチンや特效薬はありません。

3 予防

- 咳等の症状がある方は、特に乳幼児の近くではマスクを着用しましょう。
- 感染予防の基本は手洗いです。また、アルコール製剤による手指消毒も有効です。
- 上の兄弟が1歳以下の乳児の近くで咳やくしゃみをしないように、極力遠ざけましょう。
- 風邪症状のある大人は、乳幼児の世話をする前にマスクを着用して必ず手洗いをしましょう。

【参考：厚生労働省HP】RSウイルス感染症Q & A

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_ga.html